



TAISEI
JUNIOR-SENIOR
HIGH SCHOOL

T A I S E I

泰星

泰星学園
同窓会会報

第5号 1999.6月

発行元 泰星学園同窓会事務局

〒810-0032 福岡市中央区輝国1丁目10-10

TEL (092) 712-7181(代)

FAX (092) 716-5036

印刷 (株)コスモ綜合印刷



目次

- 会長あいさつ
- 校長あいさつ
- 泰星紀行
- 同窓会活動報告
- 事業計画について
- 泰星学園は今・・・
- 事務局より
- 同窓会総会案内

会長挨拶



同窓会会長
松尾 秀夫

日本の諺に一〇年ひと昔しという事が言われていますが、現代のあわただしい流れの中では、三年が限度であると思われれます。

この節目の年、泰星学園同窓会の諸々事業の推進を大いに計りたいと願っておりますが、なかなか出来なく困っております。

同様に昨年より計画されております泰星学園の改修工事代金にかかる寄付金(目標金額三、〇〇〇万円)募集についても三年の期間ということでは、まいち同窓生の皆様に浸透していかないもようので、寄付の実績が悪く困っております。

これに引きかえ学園の業績は目をみはるものがあります。毎年発表される進学状況からも周知の通りです。又本年度節目の第五〇回卒業式も無事終了四月より新たな気持ちで学園の発展推進に取り組んでいられることと確信しております。

この様な時、昨年より起きて来ましたが、泰星学園の教育環境整備問題で築二五年を経過し劣化が進んだ中高棟校舎、体育館、第一グラウンドの大幅な修理、クラブハウス、面談室、テニスコートの新設等、私達後輩の勉強の為の設備改善にぜひ同窓生の皆さんに力添えをお願い申し上げます。

昨今のきびしい経済状況の中ではございますが、かさねてよろしくお願い致します。

私達の念願であります同窓の集いに対する集客については昨年より新卒の副幹事導入により序々にはあります。その成果が上っております。

その上に福岡市の三大祭りの一つである「博多どんたく港祭り」も今年は福岡市に於ける大きな周年行事が3つも重なる記念の年であり大いに燃えあがっております。

そして私達泰星学園同窓会も大いに燃えあがりたいたいと思っておりますので、皆様方よろしくお願い致します。

校長挨拶



泰星学園校長
梶山 義夫

ザビエルを思う

一五四九年八月十五日、鹿児島にひとりの宣教師が上陸した。フランシスコ・ザビエルである。彼はその後二年余り平戸、博多、山口、京都、大分と巡り、悔い改めて、神の国の福音を信じるように説いた。彼が日本の地を訪れて四五〇年の歳月が流れたが、皆様の母校は彼の志を受け継いで、本当に人間らしい生き方とは何かを生徒たちや保護者の方々に問い続けながら、優れた教育を福岡の地に実現しようと日々励んでいる。

ザビエルの人生を見てみると、計画性という点で疑問が生まれてくる。彼がイエズス会に入会する。それは彼が十九歳でパリ大学に入学したときに秘めていた人生設計の実現ではない。彼は貴族というタイトルと学業面での成功を踏み台にして出世することをもくろんでいた。しかしイグナチオ・デ・ロヨラとの出会いで彼の計画は崩れてゆく。イグナチオはイエスの言葉で幾度となく問いかけた。

「たとえ全世界を手に入れても、自分の魂を失ったならば、なんの益があるのか。」(マタイ福音書一六・二二)イグナチオとの対話の中で、イエスの招きが魂を揺さぶっていた。「私は全世界とすべての敵を征服し、そうして父の栄光に入ることを心に決めた。そのため、私と一緒に来たい人は、私と共に働かなければならない。こうして、労苦の内に私についてきた人は、栄光の内にも私についてくるであろう。」彼は大きく生まれ変わり、イグナチオと共にイエズス会の創立のメンバーになる。

フランシスコが一五四二年インドに旅立つ、これも彼の計画ではない。別の会員が派遣されることになっていたが、その会員は病に倒れた。イグナチオは急遽その使命をフランシスコに託した。彼は粗末な修道服を身につけ、祈りの本だけを手にして旅立つていった。来日する、これもインドに到着したときからの計画ではない。

一五四七年、彼はマラッカでひとりの日本人に出会う。その邂逅の中で、イエスが自らを日本に招いていることを悟つてゆく。

フランシスコの人生を見ると、そもそも計画とは何かを考えさせられる。計画性が高く評価される社会にあって、私たちは、自分自身の計画にとらわれているのかも知れない。彼はただキリストの計画のみを探り、その計画に自らをすべてささげた。泰星学園も神の計画を探つてゆく旅路を歩もうと日々努めている。皆様が母校で習われたことを今一度想起してください。ご自分の人生について沈思してくだされば幸いです。

泰星紀行



泰星学園教頭
八尋 良久
(11期卒)

懐かしの
旧校舎

春の暖かい日に、浄水通りの「旧泰星」の地を見る機会があり、現地を訪れた。昭和三二年、泰星高校に入学して三年間在学。卒業後、大学を経て、昭和三九年東京オリピックの年に奉職。「旧泰星」の学舎は私に、多くの思い出を残してくれている。思いでの平尾山荘は自然に囲まれていた。当時、明治維新の歌人であり、長州志士の援助者であった野村望東尼の話を良く聞かされたものである。今では病院やさまざまな建築物が増え、昔の面影が薄くなっている。旧校門前に立ったとき、一瞬郷愁を感じた。「夏草や兵どもの夢の跡」。思い出がふとよぎった。当時のままの雲間気を残す校門、石垣、階段もあり、玄関前の大きな楠の木(現在は天然記念樹指定になっているとか?)は、いまだに年輪を脈々と刻んでいる。あたかも卒業生の私を待っているかのようにだった。五つボタン学生服に学生帽子の生徒が仰正門をくぐり、「学園の聖母」像に挨拶し登校した姿が目につく。運動場の面影はないが、野球場の土手の石垣が残っている。

泰星のシンボルの「VENITE ADOREMUS」(来たりて 拝め)と書かれた聖堂での「対面式」の崇高な雰囲気を感じる事はない。運動場で石ころを拾い、草を刈り、部活に励んだことは昨日のようだ。

泰星が輝国に移ってからは、早二五年たとうとしている。移転当時にはなかった体育館、特別棟、テニスコートなど、様々な施設が充実している。現在の生徒は恵まれた環境で、勉学に運動に励むことができる。進学実績も目ざましく向上している。反面、挨拶に代表される礼儀や、物を大切にすする心、悪いことを悪いと認める素直な心、「旧泰星」の頃に襲けられた事などが、失われつつあることは残念な限りである。旧校舎跡は旧泰星でありながらも、現泰星、そして私を依然として支え続けている。そんな感慨を持った。



同窓会活動報告

平成10年度同窓の集いを開く

平成十年七月十八日(土)午後六時より博多パークホテルにて、本年度担当幹事第二九期、三九期、四〇期生の企画、運営によって開催されました。

まず、松尾同窓会会長の挨拶で始まり、「今やわが母校も校長先生を初め諸先生がたのご尽力により素晴らしい学校となり、今や私学の名門として評価されています。特に本年度は、母校誕生六十五年、現地に移転して二五年になり、学園の諸設備老朽化が顕著となり、大規模な改修計画が実施されるに当たり、学園より、資金の一部を負担要請がありましたので、役員会、理事会で検討し、同窓会も積極的に協力するとの決議をし、本年四月より、募金活動を開始致しました。昨今の経済状況は大変厳しい近況ではありますが、ご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます。尚、詳細についてはすでに配布致しています、同窓会会報第四号に掲載致しておりますので、ご参照してください。三カ年目標額三、〇〇〇万円、一口一〇、〇〇〇円でも何口でもご協力を賜りたくお願い致します。」と挨拶されました。続いて、梶山学校長のご挨拶があり、学園の近況報告があり、そのなかで、特に松尾会長からお願ひされた、大規模改修計画に絶大なるご協力を賜りたい、と述べられた。引き続き議事に入り、議長に末若直司氏(六期卒)を選出し、平成九年度、事業報告、決算報告、承認、監査報告、平成十年度事業計画、予算計画、を満場一致で承認された。また、本年役員改選に当たり審議した結果、現役員全員が再選されました。会長松尾秀夫(高六期卒)副会長田中文男(中六期)卒、同大串安弘(高七期卒)、同敷田廣志(高八期卒)、同島田征児(高十一期卒)、同川村浩之(高二三期卒)、監事増崎三則(中二期卒)以上の方々です。

参加者全員の記念撮影をし、懇親会に移った。久保顧問の乾杯の音頭で本年も賑やかに始まった。八尋教頭(十一期卒)により来賓先生方々の紹介があり、年に一度の再会に会場は和やかな雰囲気包まれた。本年は特に幹事の努力で若い会員の参加が目立った。ビンゴゲームあり、最後に全員肩を組み校歌の大合唱で来年の再会を約して盛會裡に、閉会した。

平成十一年度総会は、七月十七(土)午後六時より当会場(博多パークホテル)にて開催致しますのでお誘い合わせの上、多数のご参加をお願い致します。

ご挨拶

同窓会会長

松尾 秀夫

自然の恵みは私達がこの地球上で生活する上において絶対かかせないものであります。

特に太陽は、その一つであり、全ての動植物の生存のもとになるものです。この燦々と照りつける太陽のもとしたたるような新緑が見え、人に活気がみなぎる、この七月は我が母校泰星学園同窓会のメイン行事である「同窓の集い」が開催されます。

私達が住んでいるこの福岡市は、例年福岡市の三大祭りの一つである「博多どんたく港祭り」も行われますが、特に今年は、博多港開一〇〇周年、福岡市制施行一〇周年、祭りをかさどる福岡商工会議所創立一二〇周年と、福岡市に於ける大きな周年行事が三つも重なる節目の年で大いに燃えあがっております。

私達の同窓会総会でも、昨年より新現卒業生の副幹事導入をはかりました。その結果、同窓会の集客に大きく寄与していると思われまふ。今年こそ私達も大いに燃えあがる時であると思ひます。

そして互いに同窓の温かい友情を秘めつつ堅く手を結び、明るい未来に向かつて羽ばたいて行きたいと思っております。

最後になりましたが、母校の今後の一層の発展を祈念し、さらにはこのような素晴らしいイベントを創造された、当番幹事の皆様方に心から感謝申し上げます。

東チモール訪問を振り返って

四五期 田中大樹

東チモール(East Timor)と聞いて、「一体、私たち泰星と、どんな関係があるのか」と思われる方も少なくないと思う。さらに、東チモールの聖ヨゼフ学園(St. Joseph School)と泰星の姉妹縁組を結びに至って、敢えて穿った言い方をすれば、「私たちに何のメリットがあるのか」と。

のつけからこのような話を始めたのも、聖ヨゼフ学園と泰星の姉妹縁組の意味を自分なりに再確認し、泰星の卒業生であるみなさんと、少しでも分かち合いたいと思ったからである。まず、第一に、聖ヨゼフ学園の生徒は、極めて優秀であり、学問に対する態度も真摯であるということ。

東チモール随一の同校は、多くの指導者を送りだしている。私たちが日本において触れる、ニュースに出てくる人物のほとんどは、姉妹校の出身である。そして、まだあどけなさが残る彼らが、自分の国を憂い、共同体の未来のために自分を賭けているという姿勢。その精神力。単純化を恐れずに言えば、幕末の志士のような、という形容が良く当てはまるかも知れない。

確かに、彼らは裸足でサッカーをし、学校の設備も穴だらけである。学校経営も経済的に極めて苦しい。だが彼らには「生きる」こと、共同体のために「生きる」ことへの情熱、希望がある。

だが翻って、私たちの生活はどうだろう。彼らより、百倍豊かな国に生まれながら、不満だらけの人生を送っていないか。いつのまにか、私たちは根を失っているのではないか。東チモールの姉妹校から受ける精神的な恩恵は、朋友として私たちが割く、僅かな経済的援助より遥かに大きいと言わねばならない。

「大切なものは目に見えない。」という、サン・テグジュペリ(Saint Exupery)の言葉が、今回の東チモール訪問ほど、実感できた機会はなかった。状況が許せば、私は継続して彼らを訪ね、自分にできることで協力したいと思う。このようなところに書くこと、後に引けなくなってしまうが、建前ではなく、本当にそう思っている。

このような貴重な経験を与えてくださった、泰星学園同窓会の皆様、特に私が直接お礼を言うことのできなかった卒業生の方々に、感謝しつつ、結びとさせていただきます。

同窓会コンペ



泰星会では春秋年2回開催いたしております。皆様の参加をお待ちしております。連絡先:田中文男(第6期) TEL・FAX 843-5828

玄海ゴルフクラブ			
H10.5.14 / 参加者 14 名			
優勝	神村	84 - 9.6 =	74.4
準優勝	山田	88 - 13.2 =	74.8
3位	松尾	101 - 25.2 =	75.8
4位	鈴木	87 - 10.8 =	76.2
5位	吉村	95 - 18.0 =	77.0
6位	大串	98 - 20.4 =	77.6
7位	木嶋	108 - 30.0 =	78.0

筑紫野カントリークラブ			
H10.10.13 / 参加者 14 名			
優勝	鈴木	87 - 13.7 =	73.3
準優勝	山田	85 - 11.5 =	73.5
3位	七田	95 - 20.2 =	74.8
4位	末若	101 - 25.6 =	75.4
5位	信川	103 - 26.6 =	76.4
6位	田中(文)	101 - 22.3 =	78.7
7位	田中(孝)	98 - 19.1 =	78.9

— 待望の同窓会室が完成しました —

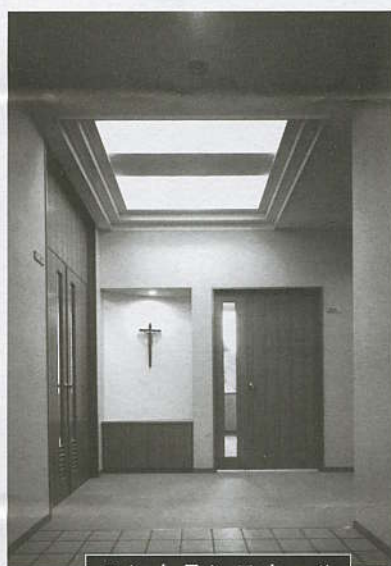
母校誕生 65 年、輝国の地に移転 25 年を期に新たな飛躍を求めて校舎及びグラウンドの新築及び改修工事が施され、この度完成いたしました。特に今回の事業計画には待望の同窓会室が新築されており、同窓会役員理事会では、母校の要請を受け、平成 9 年の 10 月より平成 10 年の 4 月にかけてこの議題について幾度となく同窓会理事会を開催、母校の事業計画をいかに成功させるかを協議検討の結果、募金活動組織を編成し、決定された実行プランを昨年 4 月より、右記のように実施しています。同窓会諸氏の方々には、母校の益々の発展に向けて暖かいご理解とご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



玄関アプローチ



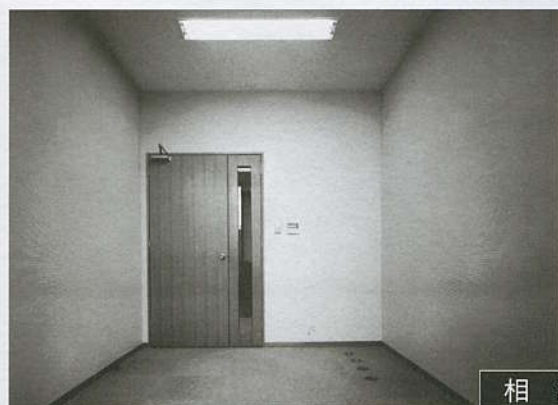
廊下



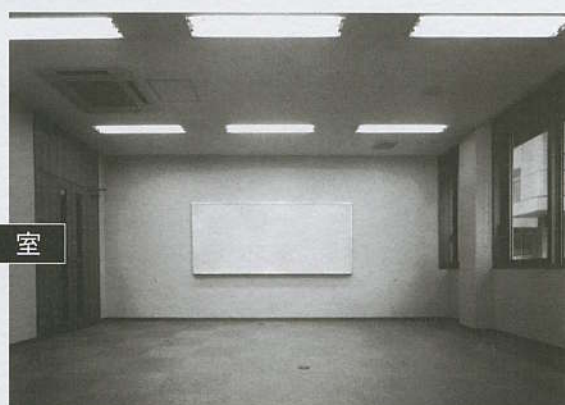
エントランスホール



相談室外観



相談室



会議室

寄付金実行プラン

1. 募集目標 金額 3,000 万円
2. 募集期間 平成 10 年 4 月から平成 13 年 3 月まで
3. 募集金額 1 口 10,000 円 1 口以上
4. 振込み方法 添付振込み用紙でお振込み下さい。
5. この寄付金は税法上の寄付金控除が受けられます。

その年の指定寄付金額のうち、1 万円を越える金額（最高は総所得額の 25%）の寄付金控除が受けられます。

ご入金確認後、学園よりお送りする領収書と特定公益増進法人証明書を添えると、翌年の確定申告によって控除を受けることができます。

募金活動組織



卒業生寄付状況

御協力ありがとうございました。(敬称略)

平成 11 年 3 月末現在

卒業期	寄付者氏名	入金額
旧(中)9回卒	久保 守	30,000
新(中)2回卒	増崎 三則	100,000
(高)3回卒	森 邦蔵	30,000
5回卒	上杉 鷹雄	10,000
6回卒	松尾 秀夫	100,000
7回卒	大串 安弘	100,000
8回卒	小島 公望	10,000
9回卒	沖 勝義	10,000
〃	永井 浩道	20,000
10回卒	中島 幸男	50,000
11回卒	島田 征児	100,000
〃	八尋 良久	50,000
17回卒	武井 良州	10,000
〃	大場 優	50,000
20回卒	荒木 敏彦	50,000
22回卒	白土 秀人	10,000
23回卒	山元 眞	30,000
〃	古閑 伸一	10,000
25回卒	納 富 浩	10,000
〃	平田 良一	10,000
28回卒	栢野 憲一	10,000
30回卒	井上 忠光	10,000
〃	西田 慎司	10,000
〃	村上 勤	100,000
31回卒	山下 恭平	10,000

卒業期	寄付者氏名	入金額
31回卒	野入 修	10,000
〃	今村 芳久	10,000
32回卒	立川 清孝	10,000
〃	楠本 俊司	10,000
〃	有田 憲正	10,000
33回卒	品川 敦彦	10,000
34回卒	木下 久生	10,000
〃	長崎 浩一	10,000
〃	久保 隆一	10,000
36回卒	松尾 真之	10,000
37回卒	谷倉 邦宏	10,000
38回卒	荒谷 維秀	20,000
39回卒	深松 健	10,000
40回卒	柴田 光彦	10,000
41回卒	手嶋 惇	50,000
42回卒	米田 宝広	10,000
〃	平嶋 崇史	10,000
〃	秋山 昌毅	30,000
〃	樋口 宏	20,000
〃	高倉 武春	500,000
43・47回卒	梶原 収功	10,000
44回卒	米田 幸司	10,000
〃	福島 秀文	10,000
〃	北田 功治	10,000
〃	船越 禎広	10,000

卒業期	寄付者氏名	入金額
44回卒	新道 弘康	20,000
45回卒	及川 達司	10,000
〃	福岡 典昭	30,000
〃	西坂 大助	10,000
46回卒	永野 巳喜雄	10,000
〃	市来 克敏	10,000
〃	中村 勝	10,000
〃	翁 斌博	10,000
〃	後山 泰一	3,000
〃	陶山 優一郎	10,000
〃	上原 真幸	50,000
47回卒	下村 宏	10,000
〃	飯田 正朔	10,000
〃	西坂 次郎	10,000
〃	王丸 光一	10,000
〃	清水 義之	10,000
48回卒	自見 倫敦	10,000
〃	田中 光悠	50,000
〃	清水 義明	10,000
〃	田淵 晶也	10,000
〃	高園 邦晃	10,000
〃	浜田 芳蔵	3,000
〃	田浦 武彦	10,000
合計		2,076,000

***** クラブ活動報告 [夢のあと...各クラブ戦績] *****

- ◎ハンドボール
 - ★九州大会県予選三位
- ◎高校野球
 - ★九州大会予選福岡県大会
 - 泰星・二一三・糸島農業一
- ◎高校バスケット
 - ★九州大会予選
 - 「一回戦」
 - 泰星・九四一三三・沖学園
 - 「二回戦」
 - 泰星・六五―七三・粕屋
- ◎高校サッカー
 - ★九州大会予選
 - 泰星・〇一・新宮
- ◎高校柔道
 - ★全国大会予選
 - 泰星・二一三・筑紫丘
- ◎高校バドミントン部
 - ★九州大会予選
 - 泰星・〇一三・筑紫中央
 - ★全国大会予選
 - 泰星・〇一三・筑紫丘
- ◎高校バレー
 - ★九州大会予選
 - 泰星・〇一三・筑陽学園
- ◎高校卓球
 - ★九州大会予選
 - 泰星・〇一三・筑紫
 - ★全国大会予選
 - 泰星・〇一三・筑紫丘
- ◎高校自転車
 - ★九州大会(熊本)
 - 個人追抜八位・松尾順人

◎テニスコート完成◎

大陽に照らされ、緑に輝くテニスコートが今年の春、ついに完成した。首を長くして待っていたテニス部員にとっては、何よりもうれしい春の訪れだったに違いない。

先日行われた始球式で校長先生のボールを受けた八尋先生に話を聞いた。

そもそもテニスコートが作り替えられたのは、学校全体の老朽化による、学校設備の改装の一環であるという。学校設備の改装はこれからも続き、夏には中学棟の改装も行われるそうなので、高校棟同様美しい環境の中で、より一層快適になる事は間違いない。その他にも、ハンドボールコートや中学部室の改装・増築も未定ではあるが、視野にはあるそうなので楽しみに待っていて欲しい。

もう一つ理由を挙げれば「美しいテニスコート」に、学校の顔としての機能を果たさせることもある。この美しいテニスコートのおかげで、泰星がより広く知られることになるだろう。

しかし、ここで考えて欲しい。テニスコートが学校顔であり続けるには、美しくあり続ける必要がある。裏を返せば、僕たち生徒がこのテニスコートを美しいままにしておかねばならないということだ。にもかかわらず、先日改装を終えたばかりの中庭の池には、すでに色々な物が投げ込まれているし、野球部がいつも整備している第一グラウンドでサッカーシューズを履いてサッカーをしている者も居る。

このようなマナーを無視した行動、例えばテニスコートに土を上げる、傷をつけるといった行為がテニスコートの老朽化を早める結果につながるのである。

ここはひとつ、テニスコートを自分たちのマナー改善の養成所だと考えてはどうだろうか。泰星の生徒達が一九となって、この美しいテニスコートを一分一秒でも長く「泰星の顔」として存在させ続けていきたいものである。

(富永・山口)



一須藤先生、ありがとう！
プラスオーケストラ
第12回定期演奏会



プラス部キャプテン
戸嶋 太一

四月十八日の日曜日、メルバルクホール福岡で第十二回泰星プラスオーケストラ定期演奏会がありました。今回は顧問の須藤先生の最後の定演になるため、先生の思い出に残るような素晴らしい演奏会にしようと五一期の役員を始めとして、部員一同心を一つにし精一杯頑張ってきました。

まず第一部は、ベートーヴェンの交響曲第七番全楽章を演奏しました。この曲はいろいろな不安な点もありましたが、本番では何とか失敗もなく演奏することができました。

また第二部は、ジャズやポピュラーなど幅広いジャンルを演奏しましたが、今年のみんなが知っている曲をより多く演奏しようと、「タイタニックのテーマ」や「アラジンのテーマ」、「スパイ大作戦のテーマ」、ピアノの「星に願いを」などの映画音楽を数多く取り入れたのが、今回の定期演奏会の最大の特徴といえるでしょう。そんな第二部では多数のソロもありましたが、何とか成功した人、失敗してしまった人などさまざまでした。しかし全体的に見ると、練習の成果を十分に発揮できた、とても素晴らしい演奏会であったと思います。

最後になりましたが、須藤先生長い間、プラス部のご指導本当にお疲れさまでした。

平成11年度 学校行事予	
平成11年	4/10 入学式
	5/30 体育祭
	9/23 文化祭
	11/1 創立記念日式典
	11/20 ハーフマラソン
平成12年	2/10 武道大会
	3/1 卒業式

【入試説明会日程】

実施日 平成十一年十一月七日(日)
時間 十三時三〇分
場所 本校(合併教室)

【入試日】
平成十二年一月十八日(火)

同窓会奨学金に対するお礼

木村 義博

初夏の風さわやかな季節となりました。

松尾会長様におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。さて、この度泰星学園同窓会の特待生の申込みに対しまして許可をいただき厚く御礼申し上げます。これも一重に松尾会長様のお力添え、御理解の賜物と心より感謝申し上げます。

今後とも泰星学園の名を汚すことなく日々努力してまいりますので御指導のほど宜しくお願い申し上げます。

泰星学園は今

平成11年度大学入試結果講評

前進路指導部長

井上成人

平成十一年度大学入試が終了した。今年の卒業生は第五〇期だから、イェズ会の中高六ヶ年一貫教育の卒業生を出し始めた四十一年から数えて、ちょうど十年目に当たるところだ。

ここで、平成十一年度大学入試結果をふり返ると共に、過去十年間の入試結果も見直してみることにしよう。十年間に泰星を卒業した中高六ヶ年一貫の生徒は一一七六名である。年度によって多少の出入りがあるが、この三年間を見れば、九七年一三六名、九八年一四〇名、九九年一二〇名であり、平均一三二名である。やや少ない感じがしないでもないが、少年時代後半の六年間を少数の仲間と共に過ごすことによつてよつて、泰星の同級生は強い結びつきを持つようになると言えるだろう。

強い結びつきの同学年の仲間は、互いに大きな影響を与え合う。私は「十五%の法則」と呼んでいるが、クラス全体の七分の一以上の人がある方向に走り出せば、クラス全体がその方向に走り出す。悪い例と良い例を一つずつ挙げよう。四〇人の

クラスの中で三〜四人がベチャクチャ話を始めても、他の人々がジロリとにらんで「迷惑な奴らだ」という態度をすれば、おしゃべりは無くなつてしまふ。しかし、それが十五%を超えて六〜七人になると、逆に、おしゃべりしている側が「なーに俺だけじゃないよ」と仲間が居ることに自信をもつてしゃべり続けられ、もうおしゃべりは止めることができない。とうとう、クラス全体が大騒ぎの状態になつてしまふ。これが、勉強の場合にも見られる。クラスの中で三〜四人が勉強を始めると、「あいつは特別だ」とか「ガリ勉の変な奴だ」ということになつて全体を動かすことはない。しかし、これが十五%を超えて六〜七人が断固として勉強を続けると、そのうち勉強していない側が不安になつてきて勉強を始めるようになるのだ。この不安は、勉強しないとは大学に通らないう不安はなく、俺は少数派ではないかという不安であるところが残念である。放つておいても高三の晩秋にもなると、誰もが少数派に残留することを

恐れて勉強するようになるが、この皆が一斉に勉強の方向へ向かう時期がここ数年早まつてきたように感じる。これが最近の大学合格実績に良い影響を与えているのかもしれない。

泰星の過去十年間にわたる大学合格実績を見ると、近年合格者数が増加しているのは東大・九大・早稲田・同志社である。医学部に関しては、今年度の合格実績は目を疑うほどの好成績であった。国立大十名、私立大十六名の合計二六名合格である。浪人も含めての数字ではあるが、今年の卒業生の一〇〇名に比較すること二〇%以上の合格率になる。

逆に泰星の母体とも言える上智大への合格者が減少しているのは残念だ。平成十一年度入試結果を総合的に見ると、文系の合格率が低かつたと言え

平成11年度大学入試合格速報

国公立大学	計	私立大学	計
北海道大学	1	早稲田大学	21
東北大学	1	慶應義塾大学	10
東京大学	8	上智大学	3
筑波大学	4	明治大学	5
京都大学	2	法政大学	5
大阪大学	1	立教大学	1
九州大学	19	中央大学	5
東京工業大学	1	青山学院大学	3
横浜国立大学	1	東京理科大学	8
広島大学	1	日本大学	3
熊本大学	4	同志社大学	17
長崎大学	2	立命館大学	10
		西南学院大学	10
		福岡大学	26

る。五〇期生の浪人は文系が二〇%なのに對し、理系が四〇%以上だった。この傾向は泰星だけでなく全国的に見ても同様であると見えよう。

大学受験者人口が年々減少してきており、大学の募集定員はほとんど変化していないので、大学入試全体が易しくなつていると言えるが、特に私立大学の文系学部でその傾向が強い。難関大学と呼ばれて来た大学への合格者数が伸びてきている。平成二〇年には、大学受験人口と大学の募集定員が同数になると予測されている。ついに大学全入時代がやってくる。しかし、そこまで待つては

顧問の井上成人先生の話

勝因として第一に挙げられるのは、何といつても戦力に穴がなかったこと。アマ三段以上が四人いて、誰をエース格に於いてもいける状況だった。実力者がそろつていたこともあって、メンバー一人一人が「今年がいける」と思つていたよう

A Q 勝つた要因は？
足を引つ張る人がいなかったし、何年も前から練習を積んできたこと。

A Q 全国大会出場を決めた今の気持ちは？
〈渡辺〉やる前から今年は大ぶんいけるだろうと思つていたが、先輩が達成することの出来なかつた目標を達成することができてとてもうれしい。
〈堀内〉頭を使いすぎて、疲れました。〈西田〉やつと今までの成果が発揮できてうれしい。

五月九日(日)、西市民センターにおいて第五回福岡県高文連将棋大会が行われ、見事団体戦において泰星高校が優勝し、全国大会への切符を手に入れた。泰星将棋部が全国大会に出場するのは二回目であるが、団体戦では初めて。しかも、去年の野球部に続く快挙だけに期待は大きい。

全国大会(第三三回全国高等学校総合文化祭将棋部門)は「将棋の町」山形県天童市において七月三十一日、八月一日両日に開催される。

全国大会の出場者渡辺大輔君、堀内大輔君、西田耕大君、の三人にインタビューを行った。

目指せ 将棋部全国制覇!!

A Q 意気込みを一言。
〈渡辺〉おとし、小倉高校がベスト4だったので、それを目標に。まず大きな目標を達成できたので、次の目標に向かってがんばりたい。
〈堀内〉大将の足を引つ張らないようにしたい。福岡県代表として、他の負けた人の分までがんばりたい。
〈西田〉負けたくないのがんばりたい。

第五回福岡県高文連将棋大会

五月九日(日)
於西市民センター
男子団体戦
(八チームによるリーグ戦。上位四チームを掲載)

優勝 泰星
六勝一敗 勝点一九
一位 西南学院
五勝一敗 勝点二六
二位 小倉
五勝一敗 勝点四
四位 京都
五勝一敗 勝点三三
五位 京都市

団体戦メンバー
大将 西田耕大(高三)
副将 渡辺大輔(高三)
先鋒 堀内大輔(高三)

平成10年度同窓会会費納入状況

終身会費

(敬称略)

23 山元 眞	37 神野 弘光	41 手嶋 史朗	44 船越 禎広	49 松尾 曉憲
30 西田 慎二	38 福田 隆一	42 平嶋 崇史	47 佐藤 万木	49 佐田 悠輔

年会費

旧中7 山田 成章	8 入山 吉美	25 納富 浩	33 鳥越 徹	40 中村 和洋	46 坂圭 矢	48 大坪 裕和
旧中9 畠山 春秋	9 武田 武邦	25 斎藤 純	33 井上 聡一	40 中島 正裕	46 柿原 信幸	48 江田 慶太郎
新中2 増崎 三則	10 柳原 秀樹	28 迎 洋介	33 井手 浩昭	40 柴田 光彦	46 翁 春仁	48 宇都宮 崇人
新中6 末若 直司	10 平田 寛	28 藤田 幸司	34 長崎 浩一	41 安田 潮人	46 大塚 充毅	48 岩瀬 範昭
新中7 小島 公望	10 中島 幸男	28 永岡 浩一	34 久保 隆一	41 斎藤 利久	46 市来 敏光	48 今田 孝之
2 宮崎 一男	10 岩本 登	29 末武 勝行	34 川端 幸一	42 山本 崇厳	46 有吉 将	48 秋山 純一郎
2 高木 満	10 市川 公夫	29 櫻井 尚明	35 長島 省毅	42 宮野 雄二	47 日名子 健司	49 渡邊 真嗣
3 森 邦蔵	11 八尋 良久	29 大石 英雄	35 高村 努	42 樋口 学	47 葉 勝億	49 吉武 伸幸
3 宮崎 一雄	11 宮崎 一之	30 村上 勤	36 松尾 真之	42 樋口 崇	47 西坂 次郎	49 山野 将由
4 山田 哲士	11 島田 征児	30 梶田 淳一	36 橋口 康	42 橋本 康平	47 中島 篤志	49 森山 文智
4 山崎 善彦	11 伊藤 賢治	30 岡崎 朗	36 仲西 基晴	42 野口 拓也	47 下村 京平	49 南 朝久
4 富塚 恭順	12 神村 幸彦	30 江藤 俊治	36 河野 雅美	42 中村 正文	47 梶原 博臣	49 溝口 真人
4 筑紫 哲彦	16 田中 健一	30 井上 忠光	36 岡 亮	43 宮崎 淳一	47 占部 誠一	49 古川 大輔
4 木嶋 敏博	17 中村 俊次	30 荒川 健次	37 吉田 典弘	43 梶原 収臣	47 飯田 大輔	49 中野 正紹
4 加藤 啓祐	17 武井 良州	31 吉竹 孝介	37 村上 修一	43 大森 隆生	48 山下 幸樹	49 鳥居 晋太郎
4 岩永 義人	17 大場 優	31 山下 恭平	37 松村 安基	43 牛島 誠	48 原田 豪	49 園下 憲一郎
5 江副 正一	18 馬場 恵介	31 早川 卓	37 星野 俊幸	44 吉田 将博	48 西村 繁一	49 三次 博之
5 上杉 鷹雄	18 池田 洋司	31 野入 修	37 福本 啓	44 福島 秀文	48 中村 洋一郎	49 三國 智史
6 山下 謙二	20 大野 隆	31 中津 武士	37 野瀬 武也	44 岡本 卓也	48 長柄 仁	49 桑田 祐輔
6 森 浄	20 遠藤 信廣	31 田中 晃	37 谷倉 邦宏	45 山本 徹	48 立花 祐樹	49 木戸 康平
6 松尾 秀夫	20 荒木 敏彦	31 今村 芳久	37 後藤 敏孝	45 矢幡 重孝	48 自見 倫敦	49 大塚 晴彦
6 田中文 男	21 上原 勉	31 安藤 康伸	37 河干 田伸一	45 光成 研二郎	48 篠原 洋一	49 大島 永浩
6 池田 俊治	22 白土 秀人	32 中島 誠司	37 井上 憲一	45 福岡 竜馬	48 佐野 亮	49 江崎 太郎
7 峯 興一郎	23 古閑 伸一	32 立川 清孝	38 荒谷 尚泰	45 西坂 大助	48 小山 良浩	49 江頭 徹
7 松本 弘敏	23 川村 浩之	32 楠本 俊司	39 深松 健	45 白水 徹	48 木下 実	49 上野 祐介
7 一瀬 幹彦	23 井上 和剛	32 有田 憲正	39 中村 隆	46 三野原 愛治	48 木戸 秀典	49 井上 寛文
7 安藤 芳郷	24 平田 勇二	33 吉松 謙吉	40 横山 英雄	46 中村 隆宏	48 神田 哲郎	49 市島 久仁彦
8 友保 勝人	24 田口 一生	33 吉田 憲正	40 山口 真一	46 永野 真喜雄	48 神辺 圭一	49 石川 俊英
8 敷田 広志	25 平山 文也	33 新島 三行	40 牧草 浩之	46 陶山 忠義	48 小田 治樹	49 小野 匡彦

同窓会年会費納入のお願い

創立以来、卒業生も約7,000名となりました。今まで年会費の納入は毎年の卒業生と同窓会総会の出席者(年100名前後)が納める会費でのみ運営されてまいりましたが、「卒業生一人々の責任ある力でさらなる発展を」目標に日々邁進するためにも卒業生の皆様の暖かいご理解とご支援をお願いいたします。

泰星学園同窓会長 松尾 秀夫

・終身会費 50,000円 ・年会費 3,000円

尚、終身会費納入の方には会員証(50度数テレカ)を進呈いたします。

※同窓会総会に出席出来ない方は、同封の振込み用紙にて振込みをお願いします。

平成11年度 泰星学園同窓会総会のお知らせ

- 日時 7月17日(土) 6時(総会) 7時(懇親会)
- 場所 博多パークホテル 博多駅博多駅前4-11-18 電話 451-1151
- 会費 6,000円(年会費3,000円含) 学生3,000円(年会費含む)

主幹世話人(30期生) 村上・岡崎・大川畑(40期生) 瓜生・日浦(50期生) 松尾寛之

副幹世話人(31期生) 吉竹・安藤・権田(41期生) 磯貝・小林・野邑・花岡

〈追伸〉なお、連絡不行き届きの同窓生の方もおられると思いますので、1人でも多くの方をお誘い頂きたく存じます。